

1～4年次前期・選択

1単位・30時間

【概要・目標】

音楽を中心とする様々な芸術と触れあうことにより、感受性や創造力を培い、心豊かな人間性を養う。同時に、それらの諸芸術を生み出した様々な民族の歴史や文化を知ることにより、幅広い国際理解に努める。それらを基礎として、卒業後様々な世代の患者さんと、芸術（音楽）の話題を通じて心の交流ができるようになることを目指して講義を進めていきたい。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 音楽療法の可能性1：音楽運動療法
 - 2) 音楽療法の可能性2：癒しと音楽～大脳辺縁系に与える音楽の作用
 - 3) 音楽療法の可能性3：緩和ケア病棟と音楽
 - 4) 音楽療法の可能性4：ホスピスの歴史と現状
 - 5) 聴覚と音楽1：増加している若年世代の難聴
 - 6) 聴覚と音楽2：日本人の耳、欧米人の耳
 - 7) 喉頭と音楽：様々な発声法と生活環境の関連
 - 8) 運動と音楽：様々なリズム感と生活様式の関連
 - 9) 西洋音楽史を1年に縮めたら：あなたも90分でクラシック音楽がわかる
 - 10) 声楽入門：西洋音楽史における様々な美しい声楽曲を訪ねて
 - 11) 器楽入門：ロマン派・印象派のピアノ名曲の流れを訪ねて
 - 12) J-Popに見る日本人の音楽的感性
 - 13) 明治以降の音楽：各世代の患者さんはどのような音楽を聴いてきたか
 - 14) まとめ
-

【評価】

試験（0%）、レポート（55%）、小テスト（25%）、発表（0%）、提出物（0%）、出席状況（10%）、参加態度（10%）、その他（0%）

【教科書】

適宜資料を配布する

【推薦参考図書】

田村恵子『余命18日をどう生きるか』朝日新聞出版, 2010

岩田誠『脳と音楽』メディカルレビュー社, 2001

田村和紀夫『徹底図解 クラシック音楽の世界』新星出版社, 2012

【その他】

E-mail izumi@center.wakayama-u.ac.jp